

平成26年度 鬼怒中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標 確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を育む。
(2) 具体目標
○気力あふれる生徒 ○創造性を伸ばす生徒 ○心の豊かな生徒 ○進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- 目指す学校像・・・互いを認め合い、思いやりのある学校、保護者・地域から信頼される学校
○目指す教師像・・・高い指導力と愛情を持って、生徒と向き合える教職員
生徒のよさを認め、のばす教職員
協調性に富み、責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○基礎・基本の確実な定着を図るとともに、コミュニケーション能力を高める学習指導の推進を図り、互いのよさを認め合いながら学習させることで、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、自ら学び、自ら考える力の育成に努める。（確かな学力の育成）
(2) ○生徒が活躍できる場の設定と、ボランティア活動の充実を図り、活動を通して思いやりのある心や地域を愛する心などを育て、心豊かな生徒の育成に努める。（豊かな心の育成）
(3) 進んで運動に親しみ、健やかな体を育む体育指導の充実を図るとともに、保健安全教育の推進に努める。（健康・体力の向上と保健安全教育の充実）
(4) ○全教職員の共通理解のもと、特に配慮が必要な生徒への指導の充実に努める。（特別支援教育の充実）
(5) 教育者としての使命感の高揚と連帯感を基に、自主的な研修を通して資質の向上に努める。（教職員の資質の向上）
(6) ○小中一貫教育の推進と充実を図り、鬼怒地域学校園内の連携に努める。（小中一貫教育の推進）
(7) 学校・家庭・地域社会の実態を踏まえ、家庭・地域との連携を密にしながら開かれた学校の実現に努める。（家庭・地域社会との連携及び開かれた学校）

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- ・創意と調和のある教育課程の編成・実施・評価・改善に努めながら、信頼される学校づくりを推進する。
- ・教育目標達成のための具体策を設定し、共通理解を図るとともに組織的な実践を推進する。

【学 習 指 導】

- ・基本的な学習態度を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成を図る。
- ・教科部会の充実とわかる授業の実践に努め、学力の向上を図る。

【生 徒 指 導】

- ・互いを認め合い、人を思いやる態度の育成を図る。

【健康（保健安全・食育）・体力】

- ・進んで運動に親しむ態度の育成と、安全で健康な生活を送る態度の育成を図る。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「私は今の学校が好きである」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①生徒会の各種委員会がさらに活発に活動できるよう予定の中に時間を確保する。 ②各種学校行事において、活動の目的を明確化し、活動内容を工夫することで、生き生きと取り組めるようにする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 85%で、昨年度より上昇している。 【次年度の方針】 ① 生徒会の活動時間を定期的に確保し、生徒主体の活動を促進していく。 ② 互いに認め合い、励まし合えるような目標や活動内容を工夫する。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 「先生方は大切なことを熱心に指導してくれる」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①定着度調査や定期テスト等の分析結果を生かし、生徒の実態に即した指導の充実を図り、学力の向上を目指す。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 90%で、概ね達成できている。 【次年度の方針】 学習内容定着度調査の結果をもとに、具体的な数値目標を立て、学力向上を目指して指導の充実を図る。
	A 3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 「生徒は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①基本的な生活のルールやマナーについて、全職員で根気強く指導していく。 ②道徳の授業では「公德心」や「思いやり」等の価値項目に力を入れて指導する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 60%で、達成が不十分である。学校内の事故や悪ふざけ等だけがをする生徒も多かった。 【次年度の方針】 ① 集団生活におけるルールやマナーについては継続して指導していく。 ② 道徳で養われた道徳的心情を実践力につなげるためにも、生徒会と連携して「もっと優しくなろうよ」運動を強化していく。
	A 4 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は、わかりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①各教科で生徒の実態に合った具体的な学力向上プランを作成し、指導の充実にも努める。 ②基礎学力の定着を目指し、家庭学習の習慣化を図るために、生徒に家庭学習の方法を指導するとともに、保護者会や各種たよりで家庭にも協力を呼び掛ける。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 80%で、概ね達成できたが、保護者の意識とは差がある。 【次年度の方針】 ① 各教科で重点目標を設定し、達成のための学力向上プランを検討していく。 ② 学校側の取り組みについて積極的にアピールしながら、HPや各種たより等で家庭の協力を継続して呼び掛けていく。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」 ◎生徒の肯定的回答 80%以上	①いじめゼロ強調月間において、いじめに関する内容を含んだ道徳や学級活動の授業を実施する。 ②いじめを発見した場合には、事実確認を正確かつ迅速、組織的にを行い、被害生徒を守るとともに、いじめは絶対に許されない行為であるという毅然とした態度で指導する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 90%で、概ね達成できたが、保護者の意識とは差がある。 【次年度の方針】 ① 学校側の取り組みについて、HPや各種たよりで、積極的に情報提供する。 ② いじめについては、家庭と連絡を密に取りながら、早期対応・組織的対応を継続していく。

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 「学校の日課、授業、行事などは適切に実施されている」 ◎教職員の肯定的回答 80%以上	①学校行事などについて、実施後の振り返りを着実にを行い、問題点の洗い出しや改善策の検討を行う。	【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 95%で、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 今年度課題が残った日課や行事について、改善点を確実に次年度へ引き継ぎ、改善していく。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】 「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ◎保護者の肯定的回答 80%以上	①必要なスタッフを配置し、情報発信の手段としてＨＰの更新、充実に取り組む。 ②各種たより等が着実に保護者の手に届くよう生徒への指導を強化するとともに、併せてメール配信も活用していく。	【達成状況】 保護者の肯定的回答が約 92%で、近年安定した状況である。 【次年度の方針】 ① ＨＰの充実に継続して努めていく。 ② 各種たよりやメール配信でこまめに情報提供するとともに、学校公開への参加等についても積極的に呼び掛けていく。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】 「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」 ◎地域住民の肯定的回答 80%以上	①副校長・地域連携教員を中心として、地域協議会や各地域団体・地域コーディネーターと連携を図り、開かれた学校づくりを推進していく。	【達成状況】 地域住民の肯定的回答が約 88%で、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 今年は地域の行事に参加・協力するボランティアの参加が増えた。次年度は地域連携教員を中心に、地域と連携を図って、より一層開かれた学校づくりに努めていく。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 「学校は清掃が行き届き学習しやすく潤いのある環境である」 ◎保護者の肯定的回答 80%以上	①清掃反省カードや自己評価表を導入し、清掃を通じて生徒が「心を磨く」レベルまで高まることを目指して、積極的な清掃指導に当たる。また、必要な清掃用具の充実に努める。特に階段とトイレの環境改善に努める。 ②緑化委員による花壇やグリーンカーテンの整備、教室内の植物の栽培を充実させる。	【達成状況】 保護者の肯定的回答が約 82%で概ね達成しているが、昨年と比べ 5 ポイントほど低下している。 【次年度の方針】 ① 道徳や学級活動と連携し、ゴミが落ちていたら進んで拾えるような豊かな心情の育成を図る。 ② 今年は校舎改修工事があり、緑化活動も十分にはできなかったため、次年度は充実させたい。
B 1 社会性を育む生徒指導の推進に努めている。 【数値指標】 「生徒は登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。」 ◎保護者の肯定的回答 80%以上	①自転車の安全な乗り方等、交通マナーについては立哨指導や交通安全教室を通して、徹底していく。	【達成状況】 保護者の肯定的回答が約 50%で、昨年とほぼ同じであり、今後も指導の強化が必要である。 【次年度の方針】 交通マナーやルールについては、継続して指導を強化しながら、生徒を主体とした交通安全運動を展開することで、生徒への意識の浸透を図る。また、学校の取り組みについて家庭の理解と協力を求めていく。

教育活動の状況	生活	A10 生徒は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 「生徒は時と場に応じたあいさつをしている」 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	①学級活動や部活動、学校行事等においてあいさつの大切さを継続して指導していく。また自然なあいさつが定着するよう、教職員自ら積極的なあいさつを心がける。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答がほぼ 80%であるが、教職員や保護者の意識との差が大きい。 【次年度の方針】 生徒会の「あいさつ運動」も充実させながら、時と場に応じたあいさつができるよう継続して指導していく。
		A11 生徒は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 「生徒は時と場に応じた言葉づかいをしている。」 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	①《あいさつ・授業の受け方・言葉づかい》のポイントを小学校と連携して指導する。また、道徳の授業との関連や家庭との連携も図り、指導を充実させる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 60%であり、正しい言葉づかいが十分できていないことを自覚していると思われる。 【次年度の方針】 授業中の受け答えや友人同士、教員との会話の中で、不適切な言葉づかいについてその場でこまめに指摘し、修正していく。
		B2 部活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	①積極的に部活動に取り組めるよう、学校の指導体制を整えとともに、活動内容の充実に努める。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 90%を超えており、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 学校の指導体制について改善を図りながら、心・技・体のバランスのとれた生徒の育成に努める。
	健康・体力	A12 生徒は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 「生徒は休み時間や放課後など進んで運動している。」 ◎教職員の肯定的回答 80% 以上	①昼休みなど外に出て、進んで運動するよう教師から積極的に働きかけをしたり、体育祭や学校行事などの練習にクラス全体で取り組ませたりする。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 88%で、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 昼休みに実施した「いじめ撲滅バレーボール大会」のようなイベントを適度に織り交ぜながら、進んで運動しようとする意識をさらに高めていく。
		A13 生徒は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 「自分は、好き嫌いなく給食を食べている。」 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	①「お弁当の日」の事前・事後指導を通して、食に対する関心を高めさせるとともに、保健だより、食育だより等で、食の大切さについて家庭との連携を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が約 70%で、好き嫌いのある生徒は3割程度である。 【次年度の方針】 給食週間、マナーアップ週間、お弁当の日を通して、家庭との連携を図りながら食の大切さについて継続的に指導していく。
		B3 体育の授業や学校行事各種大会を通して自分の健康・体力保持増進に対する関心を深めている。 【数値指標】 ◎生徒の肯定的回答 80% 以上	①性教育や薬物乱用防止、たばこの害等について外部講師を招いての講話を聞くことで、健康に対する関心を高め、正しい知識や自ら健康を守ろうとする態度を身につけさせる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 90%を超えており、ほぼ達成できている。 【次年度の方針】 外部講師の講話等により、健康・安全に関する基本的知識が定着してきているので、次年度も継続実施していきたい。
	学習	A14 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は授業中に進んで話し合い、分かりやすく発表するなど積極的に学習している。」 ◎教職員の肯定的回答 80% 以上	①グループやペアで互いに深め合い、学び合うなど生徒の主体的な学習場面を多く設定し、学習意欲の向上を図る。 ②発表の技能・表現についての指導を充実させる。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答が約 45%であり、受身的な学習姿勢がうかがえる。 【次年度の方針】 ① 課題解決に際し、学習形態を工夫することで学び合いの場面を設定し、学習意欲を高める。 ② 表現力育成のための学習活動を、意図的に授業へ組み込んで継続指導していく。

	A15 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	①教室内外の整理整頓や掲示物の整備等、学習環境を整えるとともに、相手の話に真剣に耳を傾ける指導の徹底を図る。	B 【達成状況】 生徒・教職員とも肯定的回答が半数を少し超えた程度で、落ち着きに欠けている。 【次年度の方針】 考える時間、話し合う時間、発表を聞く時間等、学習活動にめりはりをつけて指導していく。また教師が説明する際には、必ず注目するよう習慣づける。
	B4 学校は、宿題を出したり、学習計画を立てさせたりして、学力の定着に努めている。 【数値指標】 ◎教職員の肯定的回答80%以上	①質や量を吟味した宿題を出したり、テスト前や長期休業前に学習計画表を作成させたりして、基礎・基本の定着に向けた指導・支援を継続する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答が約85%で、ほぼ達成しているが、保護者の数値との差が大きい。 【次年度の方針】 家庭学習の内容や方法、学校側の学習支援については保護者会や各種のたより等で、家庭への周知を図り、理解と協力を求めている。
本校の特色・課題等	B5 地区内各種ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。 【数値指標】 「生徒は地域での美化活動や地域の施設・団体の活動に積極的に取り組んでいる。」 ◎生徒の肯定的回答80%以上	①生徒会を中心にPR活動を展開し、地域と連携を図りながら、地域の行事や奉仕活動等に参加・貢献しようとする態度を育成する。	A 【達成状況】 生徒の肯定的回答が80%近くまで向上し、概ね達成できている。 【次年度の方針】 「地域に貢献できる活動」というかたちで、生徒会を中心にPRしながら、自主的活動の輪をさらに広げていきたい。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・概ね達成できた項目は、教職員の指導姿勢や教育課程の実施、生徒の行事や部活動への取り組み等である。
- ・課題が残る項目は、生活のきまりやマナー、時と場に応じたあいさつや言葉遣い、授業への取り組み等である。
- ・学校と保護者のアンケート結果に大きな差が生じたのは、登下校における安全指導や家庭学習の進め方等であり、学校と家庭が連携した指導が必要である。また、学校の取り組みについて積極的に情報発信をしていくことが大切である。

6 学校関係者評価

○アンケートの結果から、小・中間で似た傾向が見られる。地域学校園としてさらに小中が連携して指導していくことが必要である。

- ・アンケートのずれを修正するための具体的な取り組みを工夫する。
- ・個人ではできることが、集団になるとできなくなることがある。
- ・マナーや言葉遣い、あいさつ等は大人が模範を示すことが大切である。そういう意味では協議会が中心となり、親学講座等を企画するののも一つの方法である。
- ・地域のボランティア活動で、熱心に活動する中学生を見て感心した。今後も地域で育てる場面を増やしていきたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 基本的な生活習慣・学習習慣の定着については、今後も小中が連携を図りながら継続して指導していくことが大切である。
- ・学力向上対策として、継続できる効果的な具体策を検討し、実施していく。
- ・交通安全に関しては、家庭の協力が不可欠である。現状についての情報提供をしながら交通安全に関する意識を高めていく。
- ・地域に育ててもらう場面としてボランティア活動の輪を広げ、地域における存在感や満足感を実感できるようにする。
- ・学校の取り組みについては、各種たよりやホームページ等で家庭や地域に積極的にアピールし、理解してもらうことが必要である。